

【技術名】被覆植物を活用した畦畔管理

水田畦畔の法面は^{ほふく}匍匐型芝草への植生転換で 効率的な管理が可能に！

【技術の要約】

水田畦畔の法面に匍匐型芝草（暖地型：ノシバ、センチピードグラス、寒地型：ベントグラス類）を繁茂させ畦畔被覆を行うことで、その後の除草作業が軽減され、畦畔管理の労力が削減されます。

【技術の内容】

1 播種方法

- (1) 既存の畦畔では雑草を除去してから播種を行います。雑草に対して非選択性の茎葉処理除草剤を散布し、地上部が枯れたら多年生雑草の地下茎・根を除去し、畦畔をならして播種します。雑草の残さは、乾燥防止や雑草の再発防止につながるため、除去せずに播種します。
- (2) 播種量の目安は 20 g / m² とします。種子を散播する場合は、播種後レーキ等で浅く攪拌し覆土を行い、種子と畦畔の流亡を防止するために、鎮圧をします。
- (3) 法面の大きな畦畔では、散播より条播が適します。具体的には、等高線沿いに 30~50cm 間隔に浅く溝を切り、播種後に覆土を行います。
- (4) 播種後は、種子と畦畔の流亡防止のため、むしろ等で被覆を行うと効果的です。
- (5) 播種時期は雑草との競合や乾燥害を避けるため、9月上旬頃を目安に行います。
- (6) 新規造成畦畔では、吹き付け法や種子シート張り(ワラ芝工法)が省力的です。



図1 センチピードグラス



図2 クリーピングベントグラスの畦畔

2 芝草の主要な特性

芝草にはそれぞれ特徴があるので、地域にあった草種を選びましょう。

表1 芝草毎の主要特性

区分	草種名	芝地密度	耐寒性	耐暑性	匍匐性	発芽適温	発芽目安
暖地型芝草	センチピードグラス	○	×	◎	◎	20~30℃	5~10日
	ノシバ	○	△	◎	◎	20~35℃	10~20日
寒地型芝草	クリーピングベントグラス	◎	◎	○	◎	20℃以上	7~10日

【留意事項】

- 1 センチピードグラスについては、平成 15 年度普及技術に、クリーピングベントグラス（商品名：畦畔グリーン）については「牧草と園芸 第 61 巻第 3 号（2013 年）」に詳細情報がありますので、ご覧下さい。